

# 市民と議会を愚弄するもの

## 「密約」公表 ダブル選… 吉村市長を批判

法定協に先立って、11日午前中に行われた大阪市議会大都市税財政制度特別委員会で、山中氏は吉村市長に質問。一年半にわたる法定協や同委員会の議論を通して、大阪市廃止・分割の害悪が明らかになり、議会も維新以外は「都」構想反対だとし、「時間とエネルギー、税金をこれ以上費やすべきではない。民主主義という点からも、『都』構想は断念すべき」と迫りました。

吉村氏は「再挑戦を公約して当選した経緯がある。実現へありとあらゆる努力をするのは当然」と強弁しました。山中氏は「これだけ審議を尽くしてもなお、議会の賛同を得られないとすれば、潔く引込めるのが筋だ」と反論しました。さらに松井氏が「密約」文書まで公表し、公明党が「住民投票実施」の約束を守らないなら、辞職して出直し選挙までやると言い出していることについて、「市民とは何の関係もない密約を守らせるために辞職をほめかすとは、およそ270万市民の代表とは思われて主張しました。」

「密約」公表 ダブル選… 吉村市長を批判



大阪市議会大都市税財政特別委員会で質問する山中幹事長。右は瀬戸一正団長＝11日